令和８年度　第４回学校運営協議会議事要旨

松戸市立小金小学校

〇日　時　　令和８年１１月１４日（土）　１１時２０分より
〇場　所　　小金小学校　コミュルーム
〇日　程　　【行事参観】　音楽発表会
　　【協　　議】　「地域として子供を支える環境づくり」について
　　【活　　動】　給食試食
　　【行事参観】　小金っ子まつり（PTA 行事）
〇参加者
　松戸市教育委員会より
　　教育政策推進課指導主事　　河村　　将　　様
　学校運営協議会委員　出席者（敬称略）
　　安達　里季　　上野　久　　塩澤　凉子　　大谷　茂範
　　安井　裕道　　山口　真由美　　丸山　達也
　　三輪　祐子　　西山　幸子　　松尾　利之　（１０名）
　学校運営協議会委員　欠席者（敬称略）
　　鈴木　悦朗　　海老澤　亜矢　　岩田　智恵
　　中嶋　雅行　　吉野　大介（　５名）

〇次第
　小金小学校学校運営協議会　１１時２０分～

議題

① 地域人材による学習サポートについて

② 学校と地域をつなぐ組織体制づくりについて

③ 今後の具体的な取組の方向性について

１　前回協議内容の確認

前回の協議会では、今年度の重点テーマとして次の２点を中心に検討していく方向が了承されたことを確認した。

- 地域人材による学習サポート
- 学校と地域をつなぐ組織体制づくり

２　アンケートによる意見集約

委員を対象に、Microsoft Forms を活用したアンケートを実施し、具体的に実現可能な活動や必要な体制について意見を集約した。

（1）地域人材による学習サポート

実現可能性が高い取組として、以下の意見が多く挙げられた。

- 地域や関係機関と連携した防災教育（防災体験・避難所訓練等）
- PTA が担ってきた活動への地域住民の協力
- 地域の人材を活用したキャリア教育や学習支援

特に防災教育への関心が高いことが確認された。

（2）学校と地域をつなぐ組織体制づくり

優先度が高いと考えられる事項として、以下の３点が挙げられた。

- 学校と地域をつなぐ調整機能・体制の構築
- 教職員が地域に求める支援や課題の把握
- 地域の知識や実情を教育活動に生かす仕組みづくり

（3）必要な人材

活動推進に必要な人材として、以下の２点が特に重要であるとの意見が多かった。

- 地域ボランティア
- 学校と地域をつなぐコーディネーター（連絡調整役）

（4）必要な仕組み

活動実現のために必要な仕組みとして、以下の４点が必要であるとの意見が見られた。

- 学校と地域の連絡窓口
- 学校と地域が協議・調整する場
- 活動場所や日程の確保
- 協力者の募集・登録の仕組み

（4）必要な仕組み

活動実現のために必要な仕組みとして、以下の４点が必要であるとの意見が見られた。

- 学校と地域の連絡窓口
- 学校と地域が協議・調整する場
- 活動場所や日程の確保
- 協力者の募集・登録の仕組み

３　協議内容

（1）既存組織の活用について

委員から、避難所運営委員会、地域安全会議、学校施設開放関連組織など、既に地域と学校を結ぶ組織が存在するため、それらを有効活用することが有効ではないかとの意見が出された。

（2）コーディネーター機能の必要性

地域活動や学校支援活動を継続的に進めるためには、

- 情報発信
- 人材募集

- 学校との調整
- 活動の取りまとめ

を担うコーディネーター的な役割が不可欠であるとの認識が共有された。

（3）学校支援ボランティアについて

現在学校で行っている支援例として、

- 水泳学習の見守り
- 家庭科（ミシン）の支援
- 図工（のこぎり使用時）の支援
- 校外学習や町探検の付き添い

などが紹介された。地域人材の活用によって、こうした支援をさらに充実させる可能性について話し合われた。

（4）情報発信の重要性

地域住民への周知やボランティア募集について、

- コミュニティ・スクールからの発信
- 学校と地域を結ぶ広報の仕組み

を整備する必要があるとの意見が出された。

４　今後の方向性

- アンケート結果を基に、実現可能な活動を整理する。
- 学校と地域をつなぐ組織やコーディネーター機能について継続検討する。
- 地域人材活用の具体的な方法を検討する。
- 次回会議までに、事務局と関係委員で具体案を整理し提案する。

５　その他

次回学校運営協議会について

日時：令和９年１月２８日（木）

内容：　今年度のテーマに沿った話し合い

学校評価の結果

委員による学校評価



